

授業科目 基礎ゼミ

【 担当教員名 】		対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健康・スポ・社会・看護	
各学科担当教員		開講時期	前期	必修・選択	必修	
		単位数	1	時間数	30	
【概要・一般目標：G10】 本科目は大学生生活への円滑な導入を主たる目的として設定されている。この目的を実現するために、少人数のグループにて学習に関する基礎的な知識・技術を習得するとともに、対人交流の基礎能力や健康・安全に関する意識を身につける。						
【学習目標・行動目標：SB0】 1. テーマや状況に即した日本語を用いることができる（聞く、話すを中心に） 2. それぞれの専門性の基礎となる思考・推論を行うことができる 3. 課題への取り組みを通し、グループ内にて自分の意見を的確に述べるができる 4. 活動を通して教員や学生との交流を深め、疑問、不安、問題が生じた際に適切なタイミングで相談できるグループを構築する 5. 健康で安全な学生生活を送るための基本的事項および留意点を説明できる ※以下の欄の内容については、各学科で基本方針を立案し、各ゼミの計画によって実施される						
回数	授業計画・学習の主題				SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	履修相談と確認	履修登録および本学学生としてのマナーなどの基本的事項について理解する			4, 5	学科単位またはゼミ毎
2	オリエンテーション	授業の目標・内容の説明、メンバーの自己紹介			1～5	ゼミ毎または学科単位
3	テーマについて	学生・教員の話し合いに基づいて課題・スケジュールを決める			1～5	ゼミ毎
4	〃	（履修登録内容最終確認）			1～5	ゼミ毎
5	〃				1～5	ゼミ毎
6	〃				1～5	ゼミ毎
7	〃				1～5	ゼミ毎
8	〈「夢を語る会」「私の夢」の発表（6月10日予定）					全学科合同
9	テーマについて				1～5	ゼミ毎
10	〃				1～5	ゼミ毎
11	〃				1～5	ゼミ毎
12	〃				1～5	ゼミ毎
13	〃				1～5	ゼミ毎
14	〃				1～5	ゼミ毎
15	〃				1～5	ゼミ毎
※3回から15回までの間に、各学科毎に適宜学生教員交流会を行うこととする。 ※※図書館における情報検索に関するオリエンテーションを必ず含むこととする。 ＊健康で安全な学生生活に関する話し合いを何らかの形で取り入れるように工夫する						
【 使用図書 】		<書名>		<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書		知へのステップ（改訂版）	学習技術研究会編	くろしお出版	2006・1,800円	
その他の資料		必要に応じて配布する				
【 評価方法 】 出席に加え、討議への積極的参加、課題遂行への貢献などを評価する			【 履修上の留意点 】 学生には活動に積極的に参加し、考え、発言する態度が求められる。			